

健康経営

実践企業に学ぶ

15

大正12（1923）年の創業以来、100年以上にわたりガラス窓と共に歩んできた村島硝子商事。街並みに合った高品質な窓、環境にやさしい建材などを取りそろえ、確かな技術と知識で快適な住まいづくりを通じて地域社会に貢献し続ける。

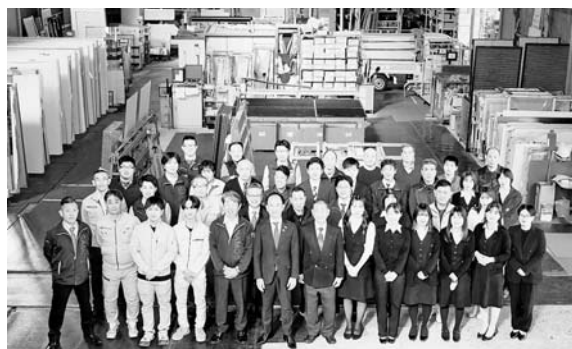
「笑顔あふれる世界にするため」をパーパス（存在意義）とする同社。そのためには社員が笑顔でなければならぬ、笑顔で過ごすには健康が必要―そんな考えの下、健康経営を推進し、2025年に健康経営優良法人の認定を受けた。

村島社長は、靴や衣料を専門



村島靖基社長

村島硝子商事



創業100周年を迎え、皆を笑顔にできる企業を目指す

て働いているから他人に優しく、十分なサービスを提供できると理解した」と話す。

余裕がないと十分なパフォーマンスは発揮できないと考え、創業100周年を機に「笑顔」のパーパスを掲げた。まずは自分たちが笑顔に、その次にお客様や家族など周りの人を笑顔にしよつ、そして周りが笑顔になる仕事で世界を笑顔にというステップを推進す

とする米国のオンライン小売企業「ザッポス」を視察し、経営方針を改めたという。ザッポスは従業員の裁量に任せたサービス展開を評価するなど、その独自の企業文化が顧客を引き付ける企業だ。「何より社員が自由に楽しそうに働いている環境に驚いた」と村島社長。「満足し

る企業だ。」「社員へ投資するよう心掛けた」と話す村島社長。社の雰囲気も良くなり、さらに活気が

出てきたという。

また、1時間単位で取得可能な年次有給休暇や、男女問わず育児休暇を取りやすい環境など働き方も改革した。常に2割の余裕を持った社員数を維持できている、

会社概要

- 所在地/榎原市曲川町7-2-4
- 電話/0744 (23) 5520
- 創業/1923年4月
- 事業内容/ガラス・サッシ・エクステリア取扱い・不動産仲介

きており、「皆が協力し、遠慮なく働ける環境ができあがりつつある」と村島社長。

40歳以上の社員のメタボリックシンドローム該当率が高いという結果から、生活習慣病に対するリテラシーを高めるためにも、今後は予防策のメール配信や研修、ラジオ体操の実施を取り入れるという同社。「より健康な社員、健全な会社経営で世界を笑顔にする会社近づきたい」と村島社長は意気込む。

（毎月第4木曜日掲載）

健全な会社が世界を笑顔に